

## 1. 研究室概要

大学名	首都大学東京		研究者	和田 一義
			職位	准教授
研究領域	ロボット工学		窓口担当	産学公連携センター
研究キーワード	ロボット・セラピー、ヒューマン・ロボット、インタラクション、医療用ロボット、空間型ロボット			
住所	〒191-0065 東京都日野市旭が丘 6-6			
電話	042-677-2729	E-mail	soudanml@mj.tmu.ac.jp	
FAX	042-677-5640	URL	<a href="http://www.sd.tmu.ac.jp/wada-lab/">http://www.sd.tmu.ac.jp/wada-lab/</a>	

## 2. 技術PR事項

### 『ロボット・テクノロジーを発展させ、便利で快適な生活空間を目指す』

#### 1. 概要

新しいロボット・テクノロジーの研究開発から福祉分野への応用、フィールドでの実験・評価を行っています。

##### ◆ ロボット・セラピー

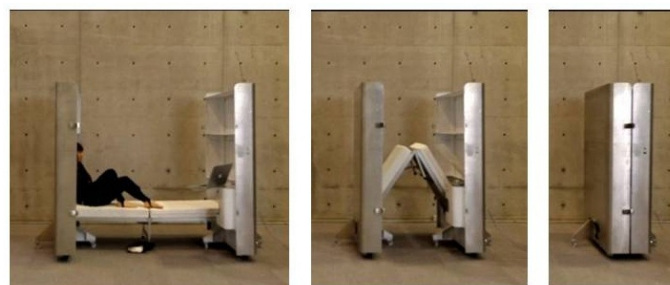
動物型ロボットを用いた心のケアを「ロボット・セラピー」と呼んでいます。ロボットと触れ合うことにより、心理的効果、生理的効果、社会的効果があることが確認されています。効果的なロボット・セラピーを実現するための研究を行っています。



セラピー用アザラシ型ロボット「パロ」

##### ◆ Smart Variable Space

ベッドルーム、オフィス、キッチンなどの空間をコンパクトに収納・モジュール化し、必要に応じて自動的に移動・展開を行うことにより空間が持つ機能を変更し、空間の利用効率を高める「Smart Variable Space」を提案しています。



ベッドルームの機能を持つ空間モジュールを研究中

##### ◆ その他の研究

- 小型人間型ロボットを用いたスケーティング動作の研究
- 遠隔操作ロボット用インタフェースの研究開発
- フィールド調査用行動観察ロボットの研究開発 など

#### 2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなど)と相談に対応できる技術分野

- ◆ ロボットの試作等での連携を希望します
- ◆ 開発機器の心理生理的評価にご協力できます

## 3. 特記事項

### ● 論文等

- 1)アザラシ型ロボット「パロ」を用いたフィールド実験の紹介, 第 28 回日本ロボット学会学術講演会予稿集, RSJ2010AC2J2-4, 2010.
- 2)Smart Variable Space における寝室型移動ロボットモジュールの改良, 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 2011 講演論文集, 2P1-K08, 2011.